

**製品名: C3aR ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07746**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	C3AR1
別名	C3AR1; AZ3B; C3R1; HNFAG09; C3a anaphylatoxin chemotactic receptor; C3AR; C3a-R
遺伝子 ID	719.0
SwissProt ID	Q16581
免疫原	抗血清はヒト C3AR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 175-224

**背景**

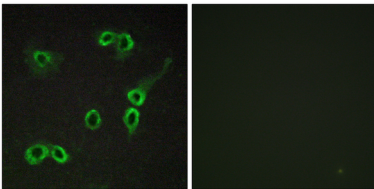
C3a は、補体系の活性化時に放出されるアナフィラトキシンです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、C3a のオーファン G タンパク質共役受容体です。コードされている受容体が C3a に結合すると、走化性、顆粒酵素の放出、スーパーオキシドアニオン

ンの産生、そして細菌のオプソニン作用が活性化されます。[RefSeq 提供、2016年5月]、機能: 走化性および炎症性ペプチドであるアナフィラトキシン C3a の受容体。この受容体は、走化性、顆粒酵素の放出、およびスーパーオキシドアニオンの産生を刺激する。、PTM: 硫酸化部位のうち、Tyr-174 は C3a アナフィラトキシンとの結合に必須である。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、組織特異性: 肺、脾臓、卵巣、胎盤、小腸、脳、心臓、および内皮細胞など、いくつかの分化した造血細胞株に広く発現している。主にリンパ組織に発現する。、

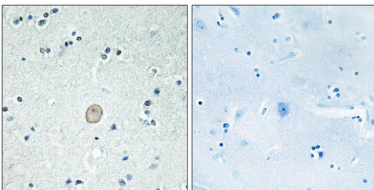
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;補体および凝固カスケード;

## 画像データ



C3AR1 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



C3AR1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。